

宇宙基本計画工程表改訂に向けた進め方

平成 28 年 11 月 1 日

今年度の工程表改訂については、昨年同様、宇宙開発戦略本部会合（第 13 回）における総理指示を踏まえ、中間取りまとめで掲げた項目を中心に、以下の方針で検討を進める。

1. 検討スケジュール

8 月 9 日～9 月 8 日 パブリックコメントを実施し、寄せられた意見を工程表改訂案の作成作業に反映。

11 月 1 日 宇宙科学・探査小委員会

～11 月中旬 宇宙安全保障部会、宇宙民生利用部会、宇宙産業・科学技術基盤部会において工程表改訂案を検討。

11 月 15 日 宇宙産業・科学技術基盤部会

～11 月下旬 各部会で取りまとめられた改訂案をもとに、宇宙政策委員会で「工程表（平成 28 年度改訂）（原案）」を了承。

年内 宇宙開発戦略本部会合を開催し、「工程表（平成 28 年度改訂）」を決定することを目指す。

2. 改訂にあたっての方針

(1) 工程表改訂の検討に当たっては、項目毎の成果目標も踏まえ、その進捗状況を検証しつつ、工程表改訂の検討を行う。

(2) 特に、中間取りまとめ 29 項目を中心に、その成果目標達成に向けた施策内容の充実・具体化、達成年限の確定、達成に至る中途段階の取組内容・スケジュールの明確化、主担当府省の明確化等により、現行の記述から一步踏み込む形での施策の検討・具体化を進め、工程表改訂に反映する。

(3) 上記作業を通じて、所要の見直しを行った「工程表（平成 28 年度改訂）」を作成する。

通し 番号	意見(個人情報除外等の最低限の修正を施したもの)
	宇宙科学・探査
1	月基地や火星基地など、宇宙探査拠点の構築・運用に関する工程が見当たりません。まずはロボットの遠隔操作で基礎作りを行い、有人で完成・運用という流れが現実的ではないでしょうか。
2	日本の科学技術発展のために、月面探査を超えるさらに先進的なミッションを実施すべきではないでしょうか。例えば、日本が火星探査の国際的枠組みを主導していくために、下記を工程表に加えるべきではないでしょうか。 ・有人火星探査での実験・居住モジュールの提供 ・探査機・探査ロボットの提供 ・宇宙飛行士の探査ミッション参加 ・軌道モジュールの提供
3	小惑星探査機を3年に1基打ち上げて、その分野で世界トップを走り続けてください。
4	日本の強みを生かすための工夫に欠ける。SELENEで得られた成果を進展させるために、JAXAが発見した火山性巨大縦孔の探査を他国に先駆けて実施すべきである。他国でこの縦孔探査を発表している所があり、探査-発見-詳細探査の順で進められる機会を逃しかねない。
5	ASTRO-H「ひとみ」の衛星本体は救えないが、その設計・製造・試験・打ち上げと運用に至る全ての経験と成果は有形無形で現存し、資産として地上に残っている。それは成果と呼べるものであり、速やかに再設計・最適化し再打上することを強く望む。 人類に大きな貢献をする我が国の先進技術がただひとつの事故を機に失われることだけは避けねばならない。必要なのは成果・成功であり、失敗しないことではない。常に挑戦し続けるべきである。そして、この国が信頼されるに足りることを強くアピールするためにも、諸外国の協力を得てなお失敗した責任を果たす国であり続けるべきである。
6	今後数十年の間に、生命体が太陽系内で見つかると考えられます。NASAは火星や木星衛星探査に本腰を入れようとしており、地球外生命体の発見は人類史上最大の成果です。その目前の好機を日本が掴み取れるよう、計画を立ち上げてほしいと強く願います。
7	先に失われたASTRO-H「ひとみ」の代替機を早急に打ち上げるべきである。しかし、他の計画とリソースの食い合いを起こさない様に、特別に予算を振り分けるなどの手当が必要である。

宇宙基本計画工程表(平成 28 年度改訂)
に対する意見募集の結果について

平成 28 年 11 月 1 日
内閣府宇宙開発戦略推進事務局

(1) 募集期間

平成 28 年 8 月 9 日から 9 月 8 日(1か月)

※ 前回(昨年)は改訂直前に1週間で意見募集を実施したのに対し、今回は改訂作業に先立って1か月間実施した。

(2) 意見総数(ウェブサイトへの入力件数)

今回	前回	前々回
154件 (▲41%)	262件	170件

(3) 投稿人数

今回	前回	前々回
59人 (▲48%)	113人	91人

(4) 投稿コメント文字数

平均 265文字 (+43%) (前回 185文字)

※1件の長文投稿(約 8000 文字)を除外した場合、平均212文字(+15%)

(5) 投稿者の属性

①性別:

	男性	女性	未記入	合計
投稿数	38	4	17	59
割合	64%	7%	29%	100%

②所属:

	民間 企業	大学等 教育関係者	公務員 ・教員	政府系 機関職員	学生	その他	無記名	合計
投稿数	17	7	6	1	1	8	19	59
割合	29%	12%	10%	2%	2%	14%	32%	100%